

BRAVIA Signage Free

ユーザーガイド

バージョン 2.1.0

©2026 Sony Corporation

目次

内容

1. 概要.....	4
[1] スライドショー再生.....	4
[2] プレイリスト再生.....	4
[3] スケジュール再生.....	4
機能概要について.....	5
[1] BGM やテロップの設定.....	5
[2] 切替エフェクトや再生時間の設定.....	5
[3] プレイリスト.....	5
[4] 再生スケジュール.....	5
[5] プレゼンテーションモード.....	5
[6] ストレージ.....	5
[7] インポート/エクスポート.....	6
[8] 自動的に再生を開始.....	6
[9] 設定ロック.....	7
[10] USB 再生ロック.....	7
再生可能なコンテンツについて.....	8
動画.....	8
静止画.....	8
音声.....	8
HTML.....	8
コーデック情報.....	9
シームレス再生について.....	10
2. 準備するもの.....	11
3. 基本的な使い方.....	12
3.1. スライドショー再生を利用する.....	13
コンテンツの再生手順 (必須).....	13
再生に関する設定 (オプション).....	14
3.2. プレイリストを作成し再生する.....	15
プレイリストの作成手順 (必須).....	15
再生に関する設定変更手順 (必須).....	19
3.3. 再生スケジュールを設定する.....	20
プレイリストの作成手順 (必須).....	20
スケジュールの設定手順 (必須).....	20
再生に関する設定変更手順 (必須).....	22
3.4. コンテンツ管理.....	24
4. より進んだ使い方.....	27

4.1. テロップを表示する	28
スライドショー再生	28
プレイリストまたはスケジュール再生	30
4.2. BGM を入れる	31
スライドショー再生	31
プレイリストまたはスケジュール再生	31
4.3. プレゼンテーションモードの利用	32
利用方法	32
5. 補足情報および注意事項	33
コンテンツ再生	33
スライドショー再生	33
スケジュール再生	34
BGM	34
USB 再生ロック	34
USB フォルダのカスタマイズ	35
その他	35
[プレイリスト設定]画面について	36
[スケジュール設定]画面について	36
自動的に再生を開始	36
付録 I. 推奨メディアフォーマット	37
動画	37
静止画	37
音声	37
付録 II. シームレス再生仕様	38
シームレスに再現可能なコンテンツの組み合わせ	38
更新履歴	40
商標	41

1. 概要

BRAVIA Signage Free とは？

BRAVIA Signage Free（以下、BSF）とは、動画、静止画、HTML コンテンツを USB メモリーにコピーし、BRAVIA に接続することで、これらのコンテンツを再生できるプリインストールアプリケーションです。



BSFには以下の3つの再生モードがあります：

[1] スライドショー再生

動画、静止画などの再生したいコンテンツを USB メモリーにコピーし、BRAVIA に接続すると自動的に再生が開始されます。複数のコンテンツをコピーした場合、ファイル名順に再生されます。

[2] プレイリスト再生

BRAVIA に接続された USB メモリーにコピーされたコンテンツを利用し、プレイリストを作成することができます。

プレイリストとは、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順番をリスト化したものです。たとえば、動画 A、静止画 B、動画 C を順番に再生したい場合、動画 A、静止画 B、動画 C を順番に並べたものがプレイリストです。

画面上でリモコンを使いプレイリストの作成を行うことができます。事前にプレイリストを作成しておくことで、運用時にこれらのプレイリストを切り替えるだけで、BRAVIA で再生するコンテンツを切り替えることができます。

[3] スケジュール再生

作成したプレイリストに対し再生スケジュールを設定することができます。

画面上でリモコンを使い、スケジュールを設定することができますが、スケジュールは「曜日」または「日時の指定」と「開始時刻」および「終了時刻」の組み合わせで設定することができます。また、「曜日」や「日時の指定」を設定せず、毎日同じように再生できるように設定することもできます。

機能概要について

BSF には上記の再生機能に加えコンテンツ再生のための設定機能があり、すべての設定はリモコンで設定することができます。変更された設定は、BRAVIA の内蔵メモリに保存されます。

[1] BGM やテロップの設定

再生するコンテンツに対し BGM やテロップを指定することができます。テロップには、文字色、背景色、クロールを設定することができます。背景色は、「なし」、「あり」、「あり (透過)」から選択できますが、設定した文字色に応じ、固定の背景色や透過率で表示されます。また、テキストが長い場合は、クロール設定を利用することで右から左へクロールすることができます。

[2] 切替エフェクトや再生時間の設定

再生するコンテンツ間の切替時のエフェクトとして、フェードアウト・フェードイン設定をすることができます。また、静止画や HTML コンテンツに対し表示時間を設定することができます。本表示時間の設定は動画には適用されず、動画の再生時にはその再生時間が適用されます。

[3] プレイリスト

BRAVIA に接続された USB メモリーに保存されたコンテンツを利用し、プレイリストを作成することができます。プレイリストには、再生するコンテンツ、再生時間、テロップ、BGM の設定ができます。また、作成中のプレイリストを確認するためのプレビュー機能があります。

[4] 再生スケジュール

作成したプレイリストに対し、再生スケジュールを作成して設定することができます。この設定を行うことで、そのスケジュールに従ってプレイリストを開始、停止することができます。

[5] プレゼンテーションモード

通常再生するコンテンツは自動的に切り替わりますが、プレゼンテーションモードでは手動で切り替えることができます。スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生のすべての再生モードで、再生開始後にリモコンの左右ボタンでコンテンツを切り替えることができます。

プレゼンテーションモード=オン：再生開始後にリモコンの左右ボタンでコンテンツを切り替えることができます

プレゼンテーションモード=オフ：再生するコンテンツが自動的に切り替わります

[6] ストレージ

USB メモリーまたは内蔵ストレージ*から再生するコンテンツを選択することができます。

*内蔵ストレージにコンテンツをコピーする手順については、[3.4 コンテンツ管理](#)を参照してください。

USB メモリーを選択した場合、USB ドライブの media フォルダが、再生コンテンツのルートフォルダとして既定で選択されます。[USB フォルダー] 設定で USB メモリー内の他のディレクトリに変更することもできます。対応しているディレクトリについては、「[5. 補足情報および注意事項 USB フォルダのカスタマイズ](#)」を参照してください。

[7] インポート／エクスポート

複数のディスプレイ間で設定やコンテンツをコピーすることができます。インポートはUSBメモリーから内蔵ストレージへのコピーを指し、エクスポートは内蔵ストレージからUSBメモリーへのコピーを指します。

- USBドライブの選択したフォルダからコンテンツや設定をインポートします
- 選択したフォルダが存在しない場合でも、コンテンツや設定をUSBドライブにエクスポートします。(USBドライブにコンテンツや設定を保存する選択したフォルダが存在しない場合は作成します)
- USBチェックのPINコードは対応していません

[8] 自動的に再生を開始

ディスプレイの電源を入れた後、プロモードで自動的に再生を開始することができます。基本設定画面の[自動起動]を[オン]に設定することで、内部ストレージまたはUSBメモリー内のコンテンツを再生します。

手順：

- (1) 基本設定画面の[自動起動]を[オン]に設定します。
- (2) 再生画面へ遷移します。
- (3) [プロ設定]>[プロモードを開始]を選択します。
- (4) 動作確認のためにリモコンの電源ボタンを押し、本体の電源をオフし、再度電源ボタンを押しオンします。
- (5) 再生が開始されれば設定は完了です。

通常モードでは変更できません。本設定により、プロ設定の初期入力にBSFが設定されます。他の入力が設定されている場合は、初期入力が優先されます。

USBメモリーを接続した時、もしくは電源プラグをつないだ時に、再生が開始されます。

自動的に再生を開始する機能はプロモードのみ対応しています。

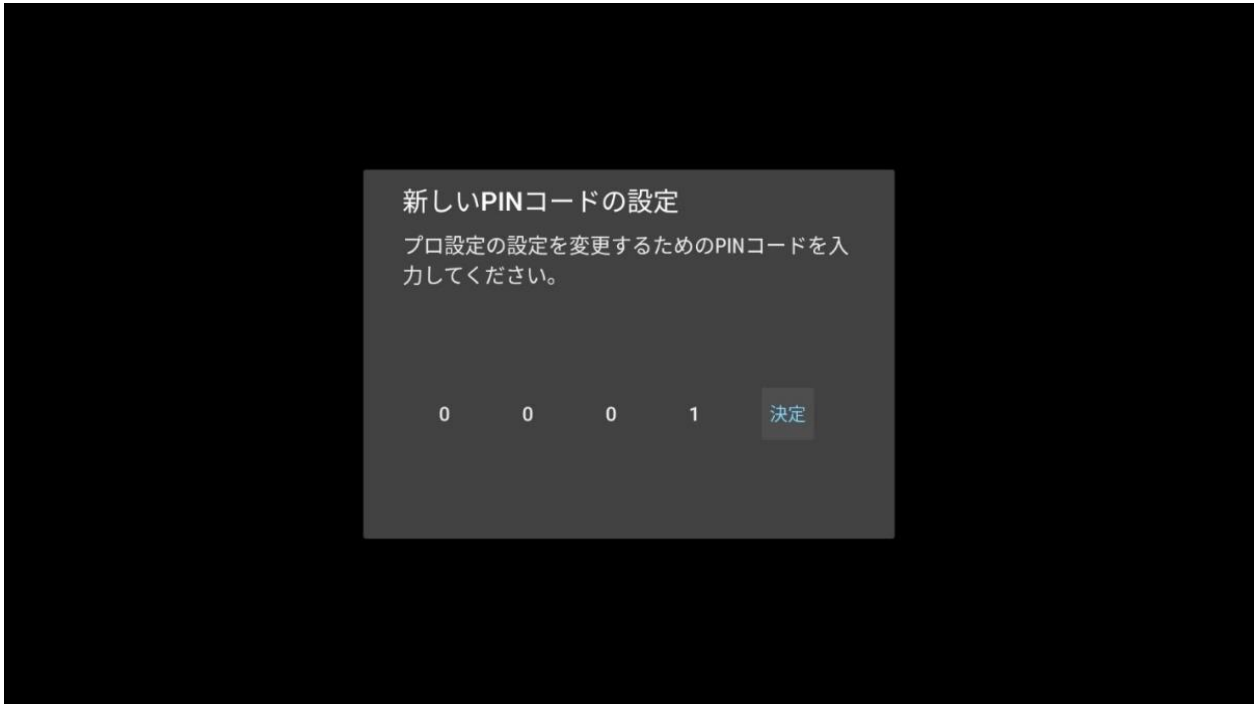
[9] 設定ロック

プロモード中に PIN コードで BSF 設定画面をロックします。

手順:

- (1) 通常モード中に, [設定]>[プロ設定]>[ロック設定]の手順でプロモードロックを有効にします。
- (2) PIN を入力して、BSF 設定を含むプロ設定をロックします。
- (3) プロモードへ遷移します。

PIN コードが設定されている状態で、プロモード中に BSF の設定を変更しようとする、PIN コードの入力が求められます。



[10] USB 再生ロック

プロモード中における BSF の USB メモリーからの再生をロックすることができます。再生開始前に、USB メモリー内の [usbchecker.txt] から PIN コードが自動的に検出されます。そのため、制限を解除するためのリモコン操作は不要です。詳細については、「[5. 補足情報 : USB 再生ロック](#)」を参照してください。

**この設定[\[9\] 設定ロック](#)とは異なります。

再生可能なコンテンツについて

BSF は動画、静止画、音声（BGM）、HTML の再生に対応しています。別途推奨される条件について、付録 I. 推奨メディアフォーマットに記載しています。コンテンツを準備または作成する際に必要に応じご確認ください。

動画

再生できる動画は以下の通りです。

- (1) 以下のコーデックに対応した MP4 フォーマットの動画：
 - 動画コーデック：AVC
 - 音声コーデック：AAC-LC/HE-AAC
- (2) 以下のコーデックに対応した MPEG TS フォーマットの動画：
 - 動画コーデック：AVC/MPEG-2
 - 音声コーデック：AAC-LC/HE-AAC/MP1L2
- (3) 以下のコーデックに対応した MP4 フォーマットの 4K 動画（最大フレームレートは 3840x2160@60p）：
 - 動画コーデック：AVC/HEVC
 - 音声コーデック：AAC-LC/HE-AAC

静止画

再生できる静止画は以下の通りです。

- PNG, GIF, JPEG, BMP
- 4K 解像度の JPEG

音声

再生できる音声は以下の通りです。

- (1) 以下のコーデックに対応した MP4 フォーマットの音声：AAC-LC/HE-AAC
- (2) 以下のコーデックに対応した MP3 フォーマットの音声：MP3

HTML

BRAVIA は HTML コンテンツの再生にも対応しています。

コーデック情報

上記の動画および音声について、コーデックに対応する規格は以下の通りです。

コーデック	仕様
MPEG-4 Part 10 (AVC/H.264)	Main@2, BP@L3, MP@L4, HP@L4
MPEG-4 Part 10 (4K)	BP@L4.2, MP@L4.2, HP@L4.2
HEVC (4K)	MP@L5.1, M10@L5.1
AAC-LC	32k, 44.1k, 48k/384 kbps (max.)/up to 5.1ch
HE-AAC	32k, 44.1k, 48k/(ISO/IEC 14496-3 compliant/profile level 3)/up to 2ch

シームレス再生について

シームレス再生とは、コンテンツを中断することなくシームレスに切替する機能です。

BSFは特定コンテンツに対してシームレス再生に対応しています。

コンテンツを準備する際に必要に応じて、[付録II.シームレス再生仕様](#)をご参照ください。

2. 準備するもの

本アプリケーションを利用する前に、以下のハードウェアを準備していただく必要があります。

(1) BRAVIA

BRAVIA Signage Free アプリケーションに対応している BRAVIA。

(2) USB メモリー

NTFS 形式 FAT32 形式、または exFAT でフォーマットされた USB メモリー (BRAVIA 1 台につき、1 つ必要になります。)

3. 基本的な使い方

ここでは、3つの再生モードの基本的な使い方について説明します。まず、以下の手順を実施するにあたり、USBメモリーのmediaフォルダの下にあるコンテンツをコピーする必要があります。以下は、その手順と内容例です。

- (1) スライドショー再生 ([3.1 スライドショー再生を利用する](#))
- (2) プレイリスト再生 ([3.2 プレイリストを作成し再生する](#))
- (3) スケジュール再生 ([3.3 再生スケジュールを設定する](#))

3.1. スライドショー再生を利用する

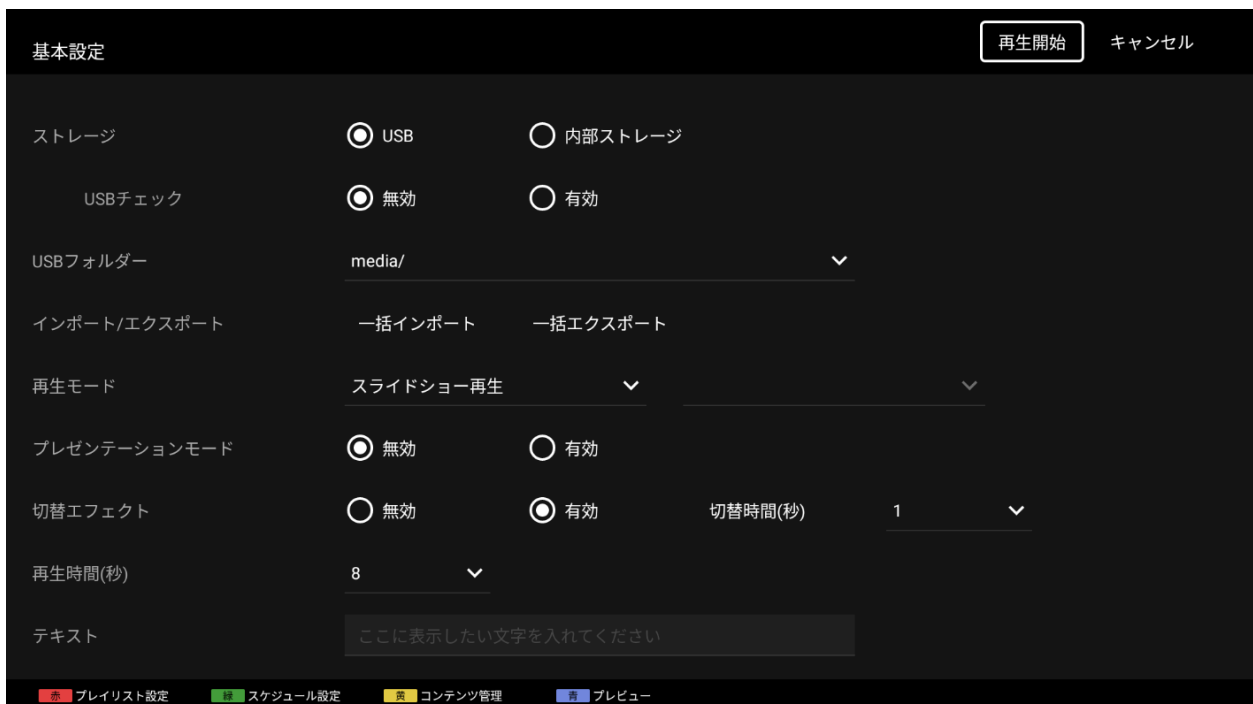
スライドショー再生とは、BRAVIA に接続された USB メモリーに保存されているコンテンツをファイル名順に再生していく再生方法です。静止画および HTML（動画を除く）については固定の表示時間で再生されます。本表示時間は設定画面で変更することができます。

動画と静止画が混在する場合、4K 解像度の静止画は 2K 解像度に変換され再生されます。4K 解像度のまま再生したい場合は、プレイリスト機能をご利用ください。

コンテンツの再生手順（必須）

- [1] USB メモリーのルートフォルダに [media]*フォルダを作成し、サンプルコンテンツ「01_cosmetic_landscape.jpg」と「02_cosmetic_portrait.jpg」を media フォルダにコピーします。

* [media]以外のフォルダに変更する場合は、「[5. 補足情報および注意事項 USB フォルダのカスタマイズ](#)」を参照してください。
- [2] USB メモリーを BRAVIA に接続します。
- [3] 手順[1]でコピーしたコンテンツがファイル名順に再生されます。コンテンツが再生されない場合は、[基本設定]画面の[再生モード]が「スライドショー再生」になっているかご確認ください。[基本設定]画面は、BRAVIA Signage Free アプリを起動した状態で、リモコンの「1」ボタンを3秒間長押しすると表示されます。



再生に関する設定（オプション）

USB メモリーを接続すると自動的にコンテンツ再生が開始されますが、その再生に関する設定を変更することができます。

上記のようにリモコンの「1」ボタンを3秒間長押しすると[基本設定]画面が表示されますが、本画面で以下の設定を変更することができます。設定画面上での操作は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定ボタンで行います。

切替エフェクト

再生するコンテンツ間の切替時のエフェクトとして、フェードアウトとフェードインを選択することができます。

再生時間

全コンテンツの再生時間を選択することができます。この再生時間の設定は動画には適用されません。動画の再生時にはその再生時間が適用されます

その他の設定については、以降で説明します。

3.2. プレイリストを作成し再生する

プレイリスト再生とは、プレイリストを作成し、そのプレイリストを選択すると、そのコンテンツが再生される再生方法です。

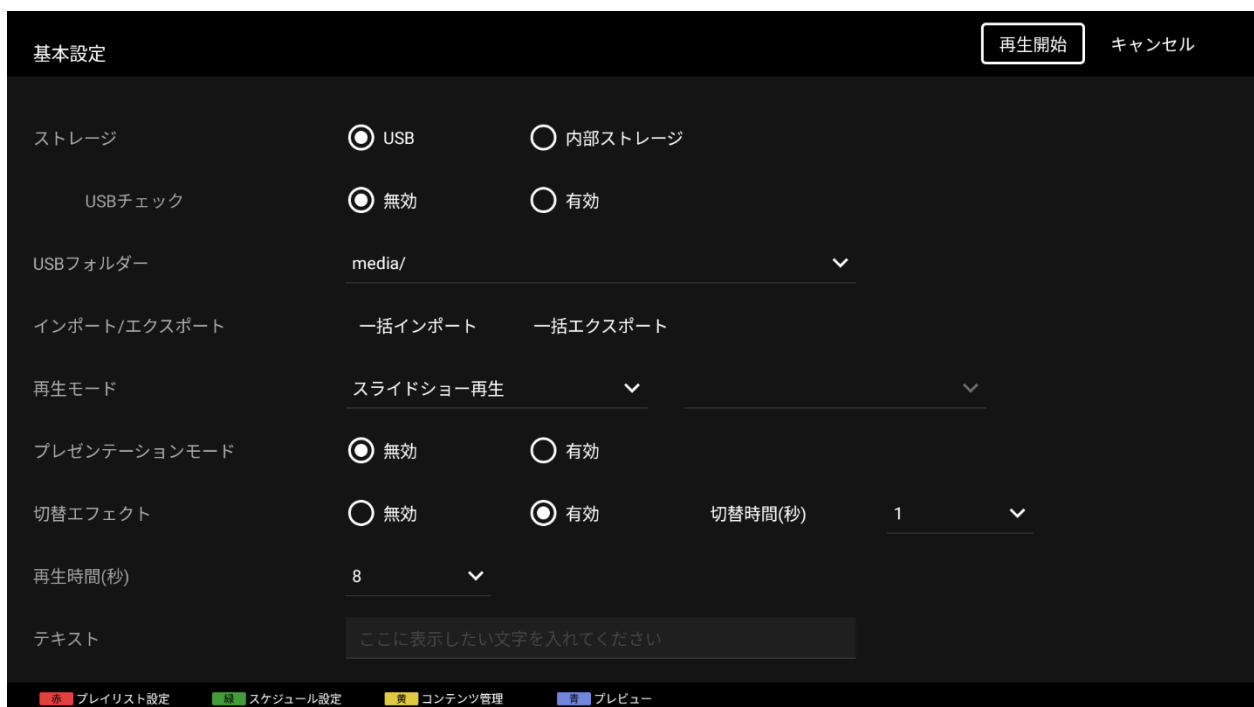
プレイリストとは、[1.概要](#)のとおり、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順序をリスト化したもので、リモコンを使って作成、編集することができます。BRAVIA に接続された USB フラッシュメモリのルートフォルダの media フォルダ内のファイルを、プレイリストのコンテンツとして指定することができます。

以下の画面は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定ボタン、カラーボタンで操作できます。

プレイリストの作成手順（必須）

- USB メモリのルートフォルダに[media]*フォルダを作成し、サンプルコンテンツ「01_cosmetic_landscape.jpg」と「02_cosmetic_portrait.jpg」を [media]*フォルダにコピーします。

* [media]以外のフォルダに変更する場合は、[「5. 補足情報および注意事項 USB フォルダのカスタマイズ」](#)を参照してください。
- USB メモリを BRAVIA に接続します。
- BRAVIA Signage Free アプリが起動したら、リモコンの「1」ボタンを 3 秒間長押しし、「基本設定」画面に移動します。



[4] リモコンの赤いボタンを押して、[プレイリスト設定]画面に移動します



[5] [プレイリスト設定]画面でリモコンの赤いボタンを押すと、プレイリストを新規に作成することができます。赤いボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示され、プレイリストの名前を入力することができます。ここでは「プレイリスト1」と入力しています。

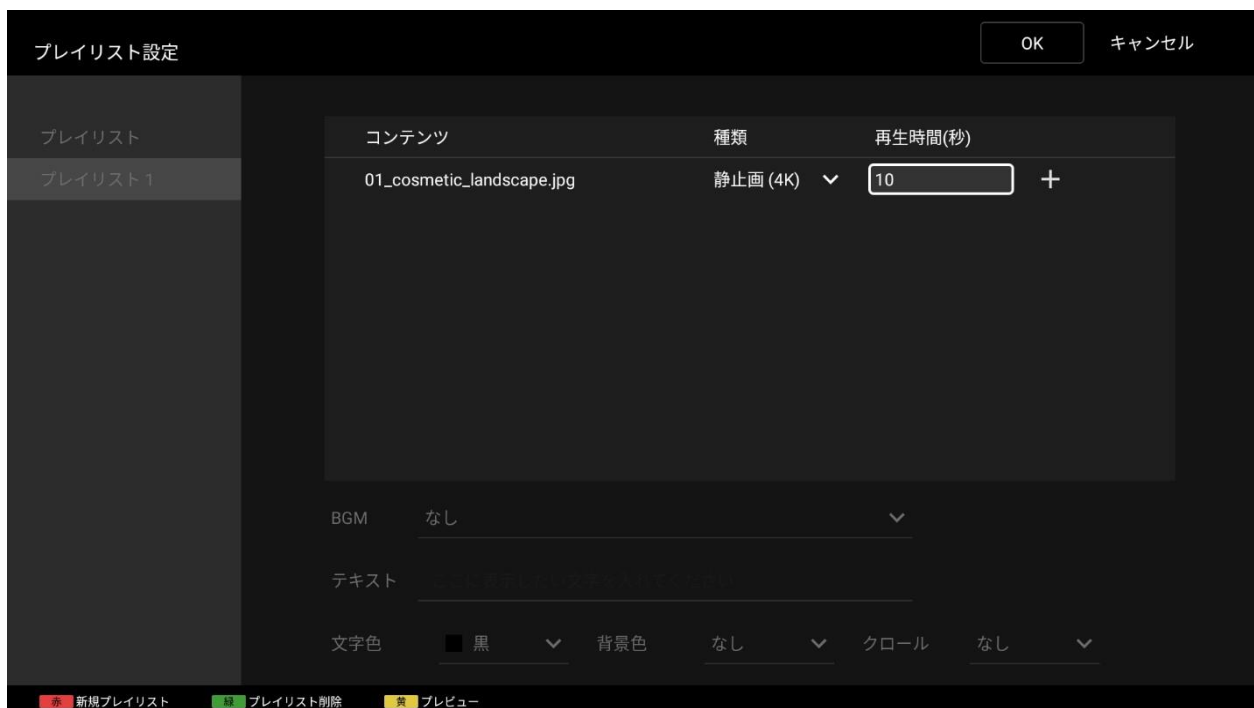


- [6] 画面右側に移動し、[コンテンツ]にフォーカスをあて、コンテンツを選択します。コンテンツを選択すると、自動的に[種類]*が選択されます。ここでは、「01_cosmetic_landscape.jpg」を選択しています。

*シームレス再生に対応するため、画像の[種類]を変更します。詳細は、付録I.シームレス再生仕様をご参照ください。



- [7] 次に、[再生時間 (秒)]にフォーカスをあて、再生時間を選択します。ここでは「10」を選択しています



- [8] 画面上の「+」にフォーカスをあて、決定ボタンを押して2つ目のコンテンツを設定します。同様に[6]、[7]の手順で、[コンテンツ]、[再生時間(秒)]を指定してください。ここでは、[コンテンツ]を「02_cosmetic_portrait.jpg」、[再生時間(秒)]に「10」を設定しています。



- [9] 画面上の[OK]ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押すと、編集したプレイリストのデータが保存され、[基本設定]画面に戻ります。

以上でプレイリストの作成は完了です。本画面上のその他の設定については、以降で説明します。

再生に関する設定変更手順（必須）

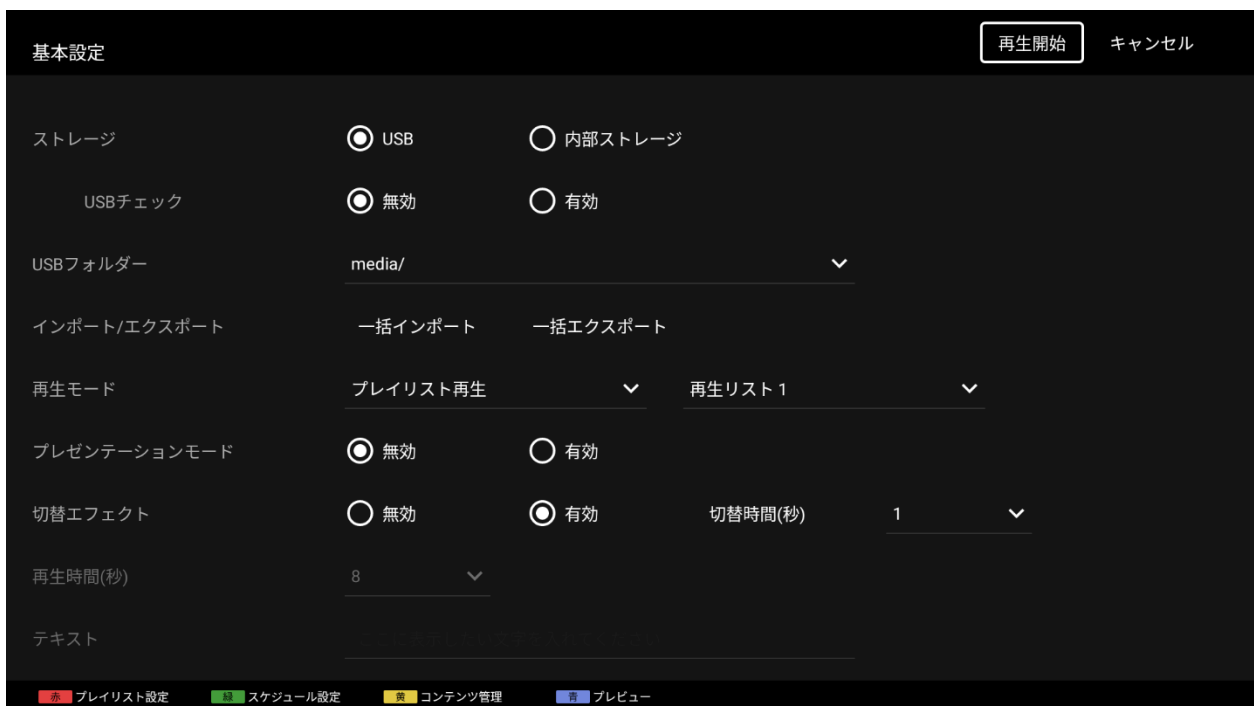
上記で作成したプレイリストを再生するためには、再生設定を変更する必要があります。

[10] [基本設定]画面において、[再生モード]で「プレイリスト再生」を選択します。



[11] [再生モード]設定の右側にあるドロップダウンメニューからプレイリスト名を選択します。ここでは、「プレイリスト 1」を選択しています。

[12] 本画面で[OK]ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押すと、「プレイリスト 1」の再生が開始されます。



3.3. 再生スケジュールを設定する

スケジュール再生とは、作成したプレイリストを再生スケジュールに従って再生を行う再生方法です。

スケジュールは、「曜日」または「日時」と「開始時刻」および「終了時刻」の組み合わせで設定することができます。また、曜日や日時を設定せず、毎日同じようにコンテンツを再生するように設定することもできます。以下の画面は、リモコンの左右上下ボタンおよび決定ボタン、カラーボタンで操作できます。

プレイリストの作成手順（必須）

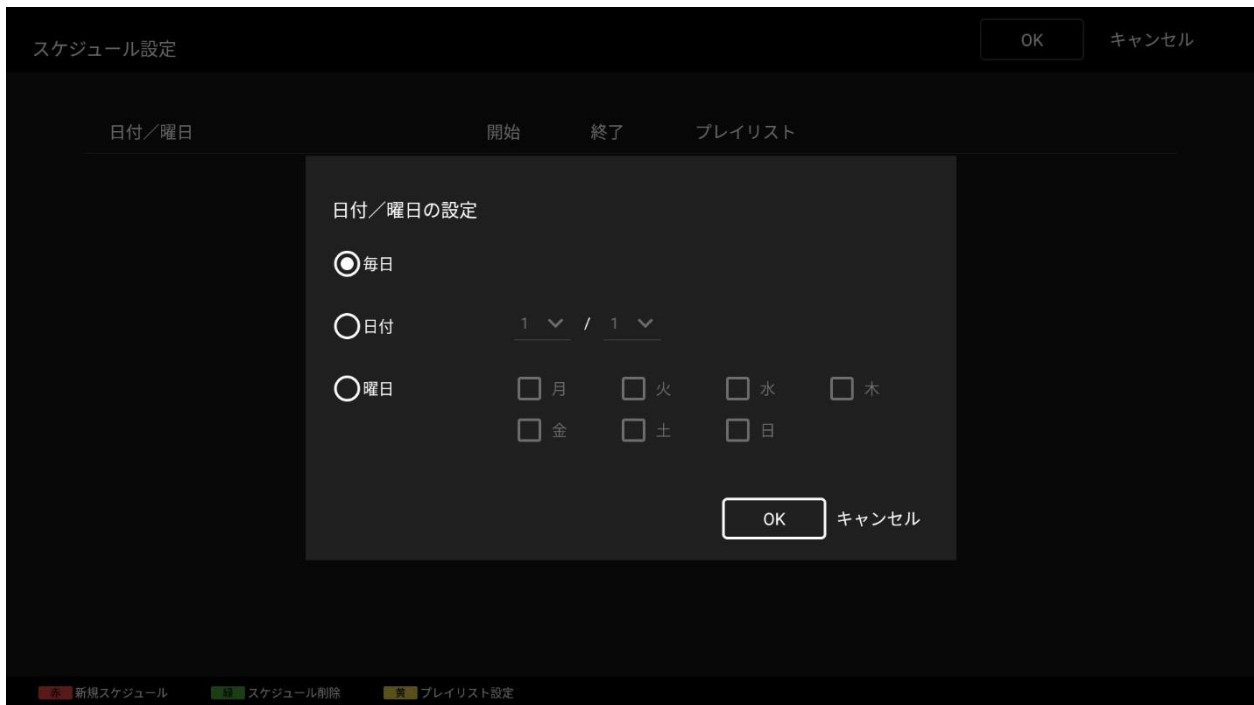
基本的な使い方については、[3.2 プレイリストを作成し再生する](#)をご参照ください。

スケジュールの設定手順（必須）

- [1] プレイリストを編集し保存すると、[基本設定]画面が表示されますので、[基本設定]画面でリモコンの緑ボタンを押し、[スケジュール設定]画面に移動します。



- [2] スケジュール設定]画面において、リモコンの赤いボタンを押すと、スケジュールを新規に作成することができます。赤いボタンを押すとダイアログが表示され、スケジュールの種類を選択することができます。ここでは、「プレイリスト 1」の再生を毎日「09:00」に開始し、「18:00」に終了するスケジュールを指定します。ダイアログ上の「毎日」を選択し、[OK]ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定を押します。



- [3] 次に、新しく追加された「毎日」の列にフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押して、[開始]、[終了]、[プレイリスト]を設定します。ここでは、[開始]に「09:00」、[終了]に「18:00」、[プレイリスト]に「プレイリスト 1」を選択しています。選択終了後、リモコンの戻るボタンを押します。



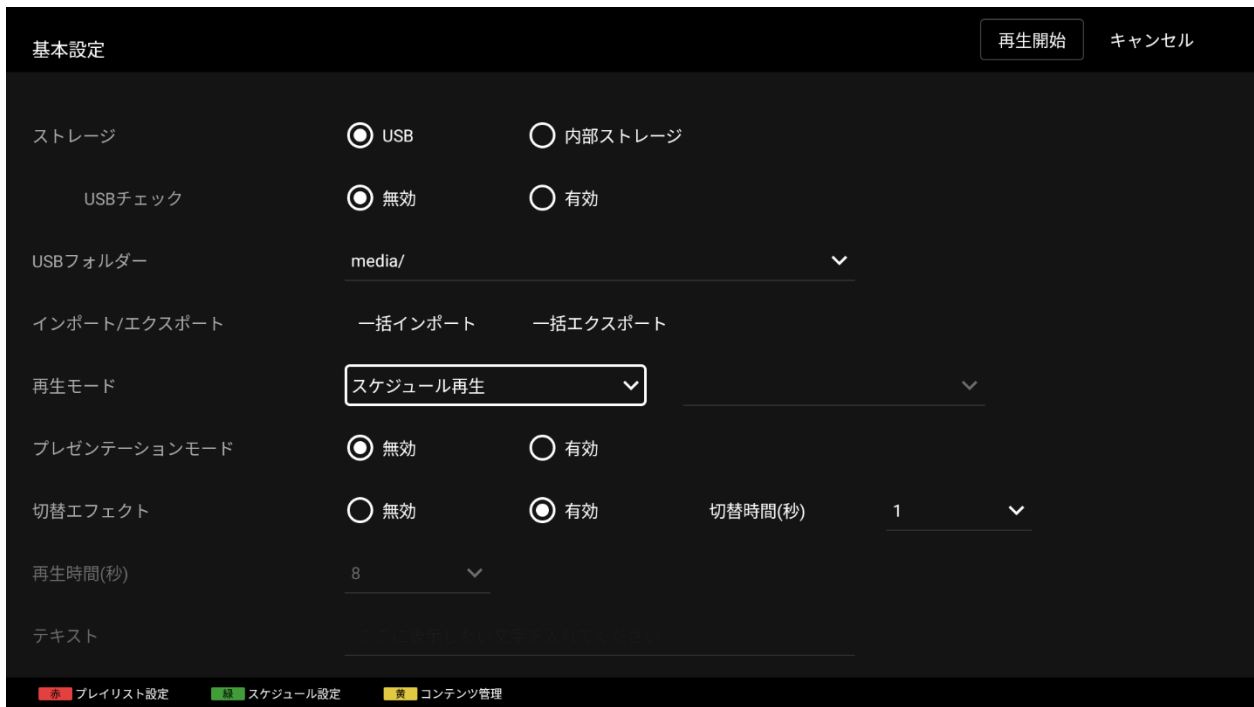
- [4] 本画面で[OK]ボタンを押し、リモコンの決定ボタンを押すと、編集したスケジュールのデータが保存され、[基本設定]画面に戻ります。

スケジュールされたプレイリストは、「日付」>「曜日」>「毎日」の優先順位に従って再生を開始します。プレイリストの再生がスケジュール時間内に終了すると、次にスケジュールされているプレイリストの再生が続行されます。開始/終了時刻が重なった場合、優先順位の低いスケジュールはキャンセルされます。

再生に関する設定変更手順（必須）

上記で作成したスケジュールに従ってプレイリストを再生するには、再生設定を変更する必要があります。

[5] [基本設定]画面において、[再生モード]を[スケジュール再生]を選択します。



[6] 本画面で[OK]ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押すと、上記で作成したスケジュールに従って「プレイリスト1」の再生が開始されます。

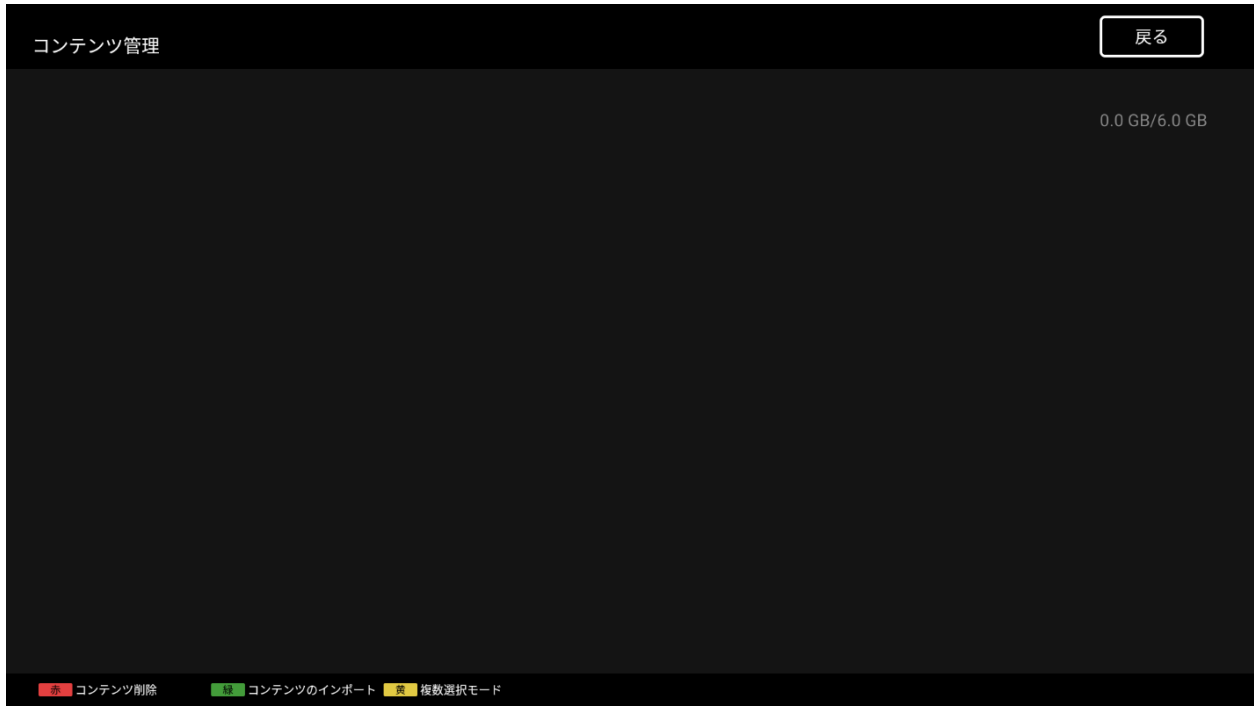
プレイリストが設定したスケジュール通りに再生されない場合、BRAVIA 本体の日付、時刻設定と編集したスケジュールが一致していない可能性があります。コンテンツが何も再生されない場合、リモコンの画面表示ボタンを押してください。下図のように BRAVIA 本体に設定されている日時は画面中央に、次の再生スケジュールの日時は画面右上に表示されます。この情報をもとに設定を確認し、再設定してください。



3.4. コンテンツ管理

BSF は内蔵ストレージにコピーされたコンテンツのコピーおよび削除に対応しています。

- [1] [基本設定]画面で<黄色>キーを押してコンテンツ管理に進みます。



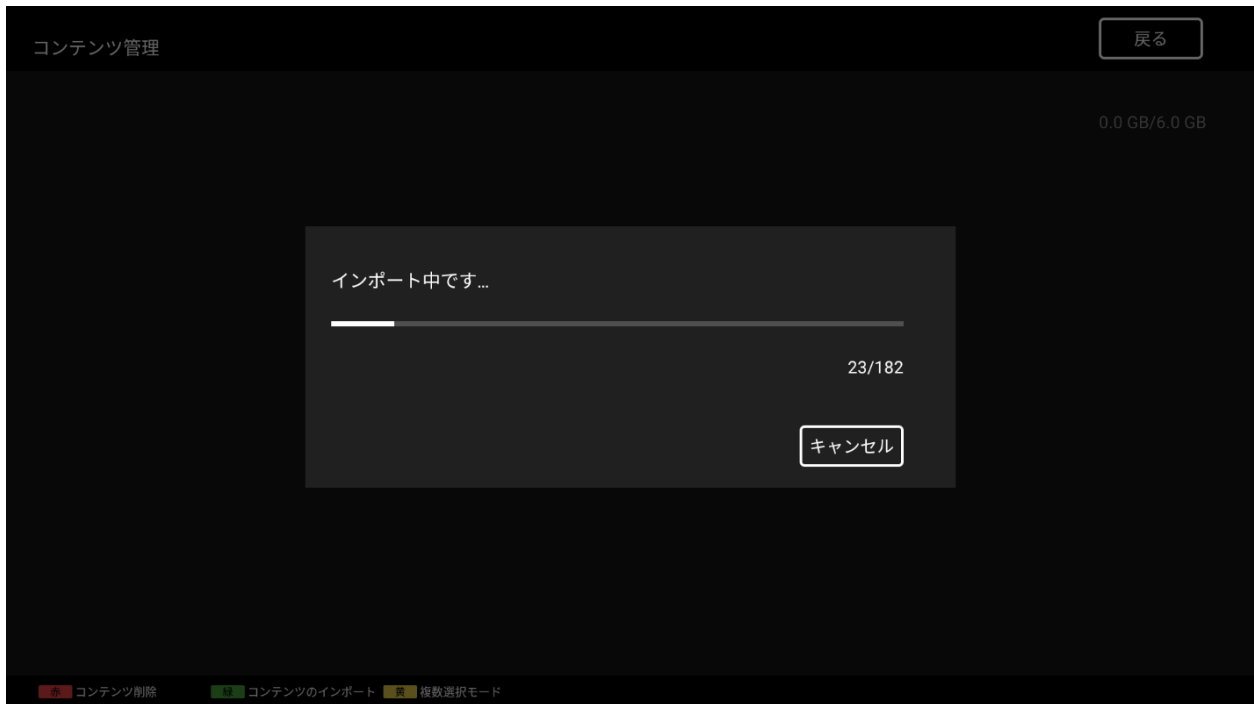
- [2] <緑>ボタンを押すと、USB メモリーから内蔵ストレージにコンテンツがインポートされます。



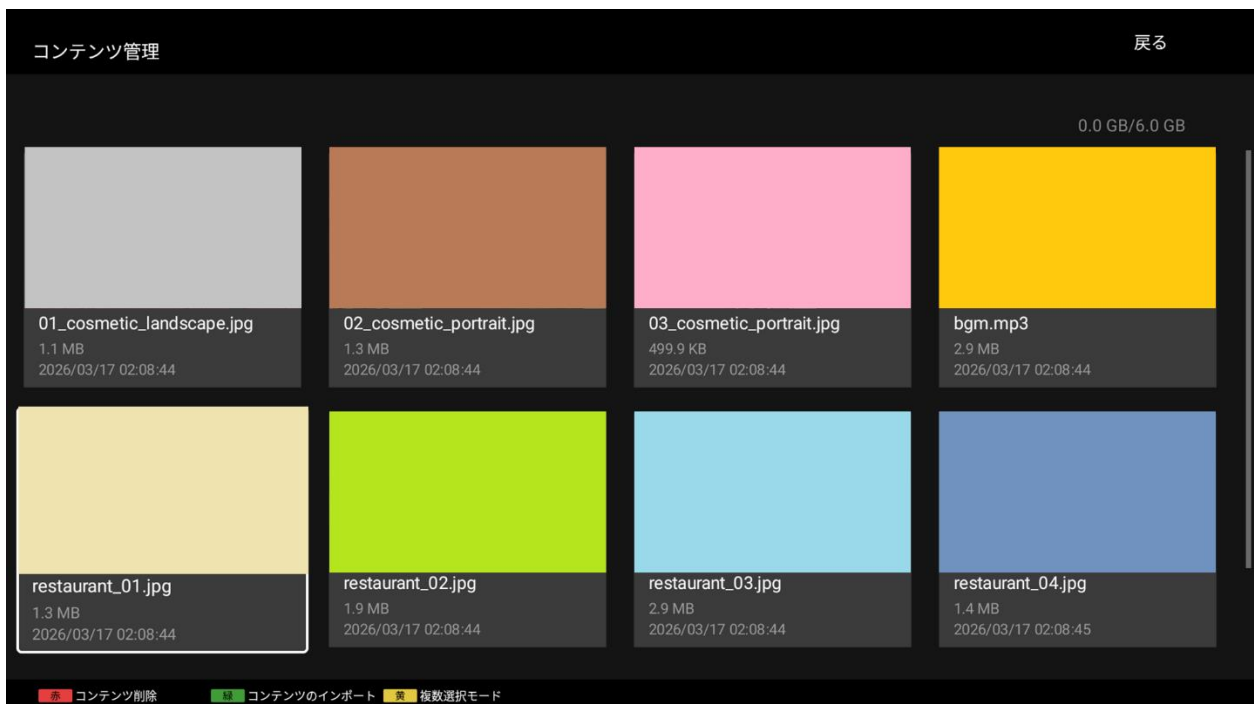
- [3] [OK]を選択すると、USB ドライブから内蔵ストレージにすべてのコンテンツがインポートされます。内蔵ストレージにコンテンツを保存するためのストレージ制限が設定されています。制限を超えた場合、インポート処理は停止されますが、コピーされたコンテンツは残ります。

注：すべてのコンテンツが読み込まれた後にダイアログが表示されるため、USB ドライブ内のコンテンツが多い場合は時間がかかります。

例：コンテンツサイズが 8GB までの場合、読み込みに 2～3 秒かかることがあります。

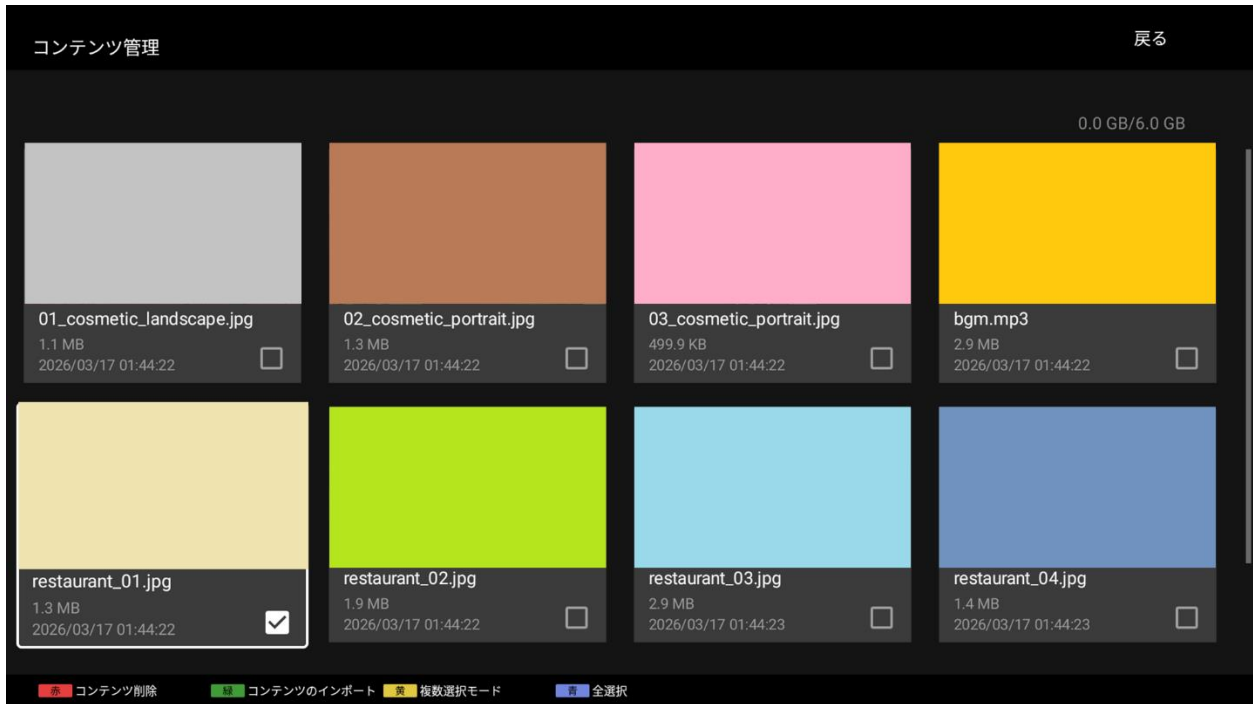


[4] コンテンツ管理画面で、コピーしたコンテンツを閲覧することができます。



[5] 選択モードは2つあります：

1. 通常モード（デフォルト）：表示するコンテンツを選択します。
2. 選択モード：<黄色>キーを押して選択モードに切替えます。操作-削除する対象コンテンツを選択します。
 - <青色>キー-すべて選択、選択モードでのみ表示されます。
 - <青色>キー-選択解除、選択モードですべてのコンテンツが選択されているときに表示されます。



4. より進んだ使い方

ここでは、[3. 基本的な使い方](#)での手順に加え、以下の表示に関する設定を追加で行い表示内容を変更する手順を内容例で説明します。以下は、その手順と内容例です。

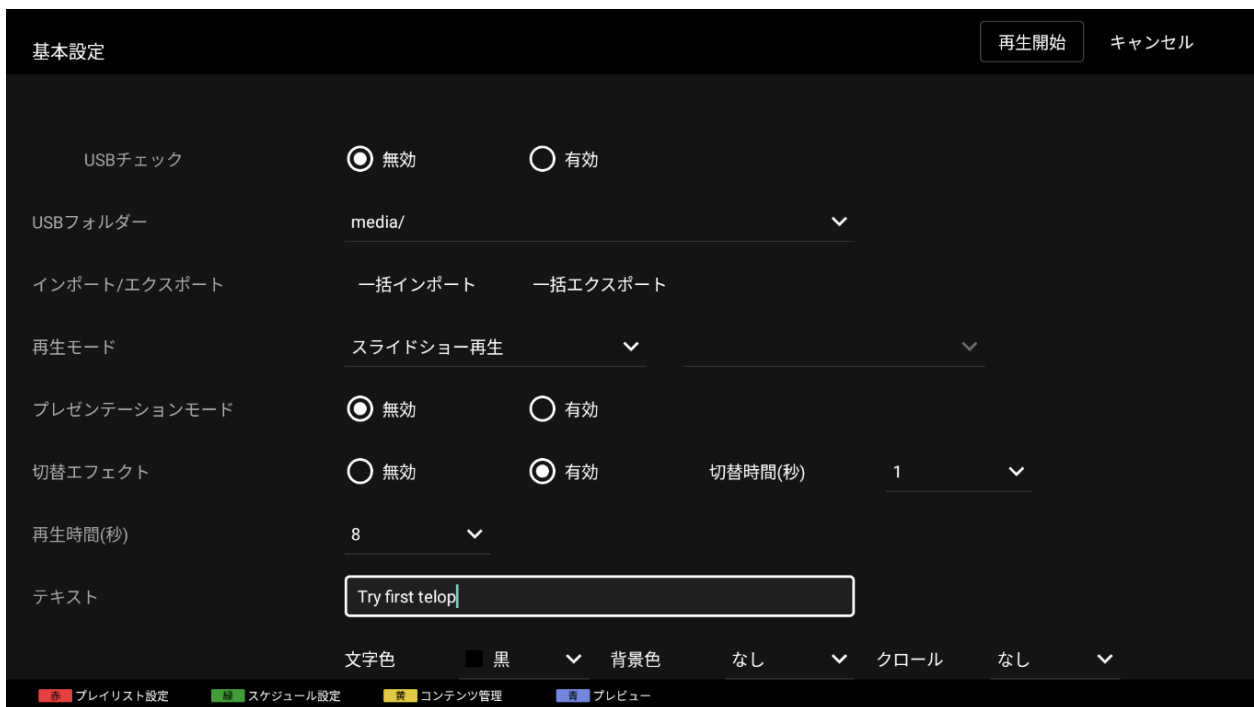
- (1) テロップ ([4.1 テロップを表示する](#))
- (2) BGM ([4.2 BGM を入れる](#))
- (3) プレゼンテーションモード ([4.3 プレゼンテーションモードの利用](#))

4.1. テロップを表示する

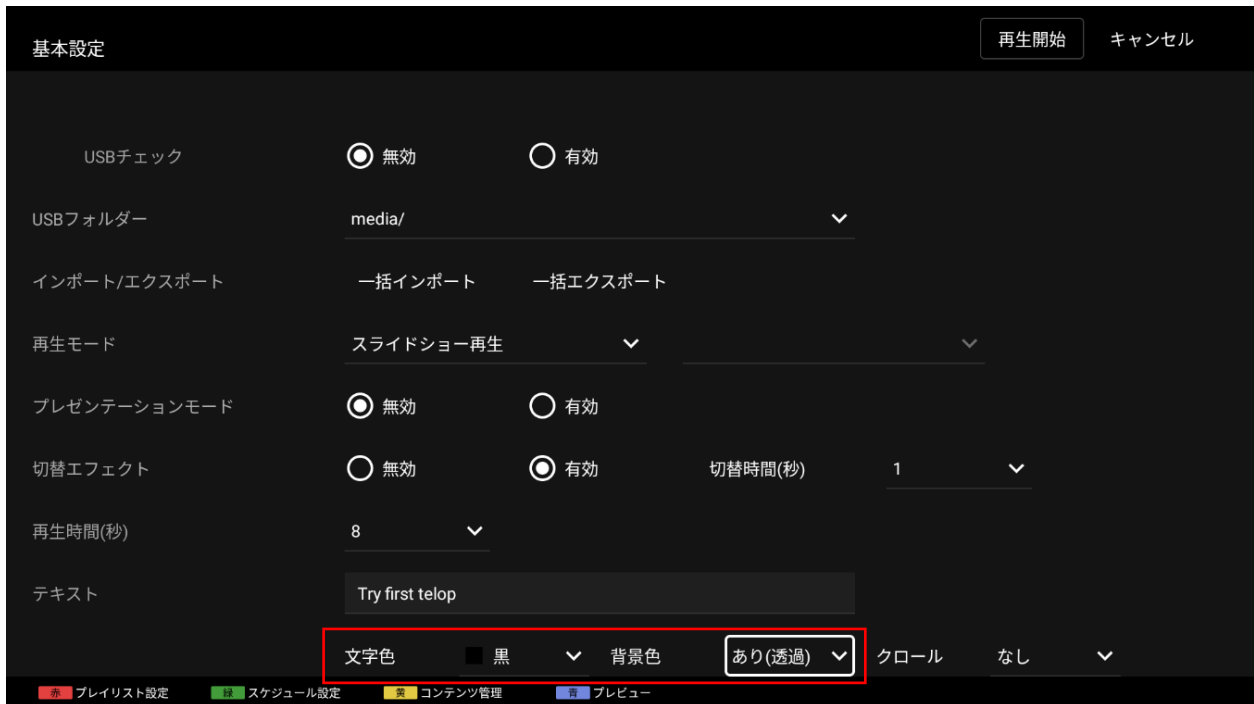
スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生のすべての再生モードで、再生コンテンツにテロップを設定することができます。ここでは、その手順について説明します。

スライドショー再生

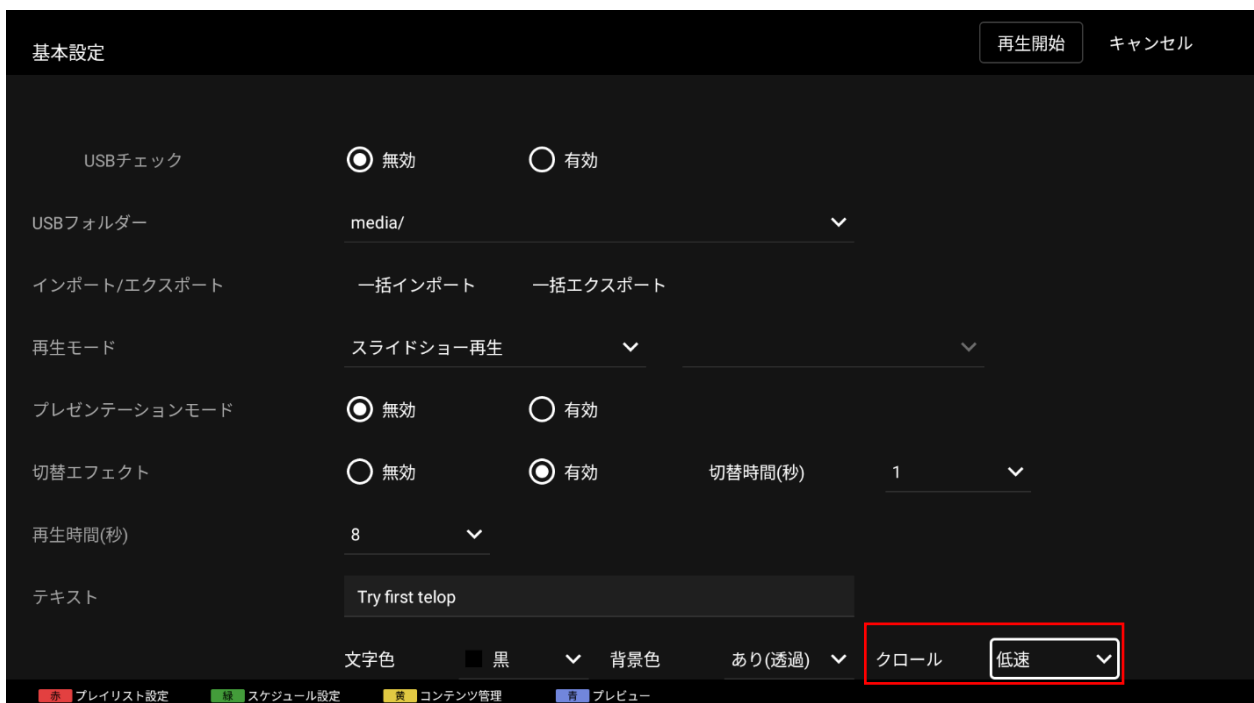
- [1] [3.1 スライドショー再生を利用する](#)の手順[1]から[3]を実行します。
- [2] [基本設定]画面に移動し、[テロップ]の[テキスト]を指定します。[テキスト]にフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押してテロップを指定します。ここでは、「Try first telop」と入力しています。



- [4] 次に、[文字色]と[背景色]を選択します。ここでは、「黒」と「あり(透過)」を指定しています。[背景色]が[プレーン]または[あり(透過)]に設定されている場合、選択した文字色に応じて背景色を固定したり、透過させることができます。



- [5] 次に、[クロール]を設定します。ここでは、「低速」を指定しています。「なし」以外を指定した場合、テロップはコンテンツ再生中に画面上の右から左にクロールして表示されます。



- [6] 本画面で[OK]ボタンにフォーカスをあて、リモコンの決定ボタンを押すと、編集した設定が保存され、コンテンツ再生画面に戻ります。再生されるコンテンツの画面下に「Try first telop」と表示されているか確認をしてください。

プレイリストまたはスケジュール再生

- [1] [3.2 プレイリストを作成し再生する](#) の手順[1]から[9]までを実行します。
- [2] [プレイリスト設定]画面上の[テロップ]について、上記「スライドショー再生」の手順[2]から[4]と同様に設定を行います。各プレイリストに対し1つのテロップ設定を行うことができます。
- [3] [3.2 プレイリストを作成し再生する](#) の手順[9]から[11]までを実行します。再生されるコンテンツの画面下に「Try first telop text」と表示されているか確認をしてください。

4.2. BGM を入れる

スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生のすべての再生モードで、再生コンテンツに BGM を設定することができます。ここでは、その手順について説明します。

静止画の再生中は指定した BGM が流れますが、動画や HTML の再生中は BGM は流れません。

スライドショー再生

- [1] [3.1 スライドショー再生を利用する](#)の手順[1]を実行します。
- [2] BGM として使用する音声ファイルを USB メモリーの media フォルダにコピーします。ここでは、サンプルコンテンツ「bgm.mp3」をコピーしています。
- [3] [3.1 スライドショー再生を利用する](#)の手順[2]と[3]を実行します。コンテンツの再生時に音声が出力されるか確認してください。

プレイリストまたはスケジュール再生

- [4] [3.2 プレイリストを作成し再生する](#)の手順[1]から[8]までを実行します。
- [5] [プレイリスト設定]画面の[BGM]にフォーカスをあて、BGM として使用する音声ファイルを指定します。ここでは、「bgm.mp3」を指定しています。



- [6] [3.2 プレイリストを作成し再生する](#)の手順[9]から[11]までを実行します。コンテンツの再生時に音声が出力されるか確認してください。

4.3. プレゼンテーションモードの利用

プレゼンテーションモードを有効にすると、スライドショー再生、プレイリスト再生、スケジュール再生のすべての再生モードで、リモコンの左右ボタンで前後のコンテンツに切り替えることができます。

利用方法

[基本設定]画面の[プレゼンテーションモード]で[有効]を選択し、本画面の[OK]ボタンにフォーカスをあててリモコンの決定ボタンを押すと、モードが切り替わります。

モードを切り替えてコンテンツ再生画面に戻り、リモコンの左右ボタンでコンテンツを切り替えることができます。

5. 補足情報および注意事項

ここでは、本ソフトウェアを利用する上での補足情報や注意事項について説明します。基本となる使い方は、[3. 基本的な使い方](#)、[4. より進んだ使い方](#)、または BRAVIA の画面に表示されるエラーメッセージをご参照ください。

コンテンツ再生

スライドショー再生

ファイル名が「.」で始まる、またはファイル名に「#」が含まれるコンテンツは再生されません。

HTML コンテンツを再生する場合、以下のように USB メモリーの **media** フォルダにコピーする必要があります。

- フォルダを作成し、そのフォルダに「index.html」という名称でエントリーポイントとなる HTML ファイルを配置してください。「index.html」という名前の HTML ファイルがない場合、HTML ファイルが参照する動画や静止画は、通常の動画や静止画と同じように再生されます。
- **media** フォルダ内の動画や静止画はそのファイル名順に再生されますが、HTML コンテンツの場合は「index.html」という名前のファイルを含むフォルダが利用されます。

例えば、USB メモリのルートフォルダに以下のような **media** フォルダがコピーされている場合、各コンテンツは以下の順番で再生されます。

1. 1_file.jpg
2. 2_file.mp4
3. 4_dir/index.html
4. 5_dir/0_dir/index.html
5. 1_file.jpg
6. 2_file.mp4
7. 6_dir/index.html

```
media
+ 1_file.jpg
+ 2_file.mp4
+ 3_file.html
|
+ 4_dir
| + index.html
|
+ 5_dir
| + 0_dir
| | + file.jpg
| | + file.mp4
| | + index.html
| |
| + 1_file.jpg
| + 2_file.mp4
| + 3_file.html
| + 4_file.css
|
+ 6_dir
+ 0_dir
| + file.jpg
| + file.mp4
| + sub.html
|
+ 1_file.jpg
+ 2_file.mp4
+ 3_file.css
+ index.html
```

USB メモリのルートフォルダ内の **media** フォルダに音声ファイルを複数コピーすると、ファイル名順に **BGM** として再生されます。再生される順序の詳細は上記と同じです。

スケジュール再生

スケジュール再生では、プレイリストは再生途中であっても、設定された終了時刻に再生を終了します。

設定されたスケジュールの開始時刻になっても再生が開始されない場合、BRAVIA 本体の日付、時刻設定と設定されたスケジュールが合っていない可能性があります。その場合、リモコンの画面表示ボタンを押すと、BRAVIA 本体に設定されている日時が画面中央に、次の再生スケジュールの開始時刻が画面右上に表示されます。この情報をもとに、必要に応じて設定を確認し、変更してください。

BGM

静止画および HTML の再生中に BGM を流します。動画および HTML の再生中は BGM は流れません。

BGM の再生が開始されると、再生中のコンテンツの表示が一瞬途切れることがあります。運用にあたり、再生時間が十分に長い BGM を使用することを推奨します。

USB 再生ロック

プロモード中における BSF の USB メモリーからの再生をロックすることができます。

再生開始前に、USB メモリー内の [usbchecker.txt] から PIN コードが自動的に検出されます。そのため、ロック解除するためのリモコン操作は不要です。

PIN の設定手順:

- (1) 基本設定(Basic Settings)を起動します。
- (2) [ストレージ]を[USB]に設定します。
- (3) [USB チェック]を[オン]に設定します。
- (4) PIN 入力ボックスが表示されます。PIN コードとして設定する 4 桁の数字を入力します。0000 は無効な PIN です。
- (5) [再生開始]ボタンを押します。

ロックの解除手順:

- (1) USB メモリーのルートディレクトリにある[sony]フォルダに新しいファイル[usbchecker.txt]を作成します。
- (2) [usbchecker.txt]に{"pin": "xxxx"}を記載します。("xxxx"は PIN の設定手順で設定した PIN コード)
- (3) [2] USB メモリーを BRAVIA に接続します。

** 注意:

- この設定は[\[9\] 設定ロック](#)とは異なります。
- usbchecker.txt ファイルはプレーンテキスト形式となっているため、個人情報や機密情報（例：銀行の PIN やパスワード）の記載はご遠慮ください。
- usbchecker.txt がある USB は安全に保管し、不正使用を防止してください。
- BRAVIA が公共の場にあり、USB に容易にアクセスできる場合は、USB メモリーを使わず内部ストレージのコンテンツを利用し、プロモードロックを有効にしてください。

USB フォルダのカスタマイズ

[USB フォルダー] を設定すること再生コンテンツのディレクトリパスを選択できます。この設定は、[プレイリスト設定画面] および [一括インポート/一括エクスポート] 機能のコンテンツリストを変更します。

[/root] は、USB メモリーのルートフォルダです。

USB ドライブのルートにある “Android” フォルダ内のサブフォルダーは対応していません

例:

```
/root
+ 1_dir
+ 2_dir
+ Android
  | + 3_dir *
  | + 4_dir *
+ media
+ sony
+ 5_dir
```

** 3_dir と 4_dir は対象外です。

その他

コンテンツ切り替わり時に、読み込みにより画面が黒く表示される場合があります。

動画の再生が開始されても、冒頭の 1 秒間は音声が出力されない場合があります。動画コンテンツを運用する場合、音声の開始時刻を遅らせているものなど、冒頭に音声のないコンテンツを利用することを推奨します。

[プレイリスト設定]画面について

ファイル名に「#」が含まれるコンテンツは再生することができないため、「コンテンツ」から選択することはできません。

[種類]はコンテンツファイルの拡張子に従い自動で選択されますが、BRAVIA は「静止画」と「静止画（4K）」の判別には対応しておりません。[コンテンツ] で静止画ファイルを選択すると、「静止画（4K）」が自動で選択されます。

プレイリスト作成後、再度プレイリスト名を押して編集することはできます。

[プレイリスト設定]画面で[コンテンツ]を編集する際に、USB メモリーに保存されているコンテンツファイルから選択します。プレイリスト編集後に USB メモリーに保存したコンテンツファイルのファイルパスを変更すると、コンテンツは再生されません。この場合、USB メモリーを接続すると以下の画面が表示されます。USB メモリーに保存されているプレイリストの設定とコンテンツのファイルパスを確認してください。



[スケジュール設定]画面について

スケジュール設定では、以下の種類のスケジュールを作成することができます。複数種類のスケジュールを作成した場合、「日付」を指定したスケジュールが「曜日」を指定したスケジュールよりも優先されます。

BRAVIA 本体の主電源がオフになっていたり、ネットワークに接続されていない場合、BRAVIA 本体に設定されている日付および時刻は初期化されます。スケジュール再生は、BRAVIA がネットワークに接続されている場合にのみご利用することができます。それ以外の環境でも、設定したスケジュール通りにプレイリストが再生されない可能性がありますのでご注意ください。

自動的に再生を開始

自動的に再生が開始されない場合は、以下の復旧方法をお試しください。

- (1) リモコンの電源ボタンを押し本体をオフし、再度オンします。
- (2) リモコンの<電源> ボタンを長押しし、「再起動」を選択します。
- (3) AC 電源を OFF > ON にします。

自動的に再生を開始する機能はプロモードのみ対応しています。

付録 I. 推奨メディアフォーマット

ここでは、BSF で再生可能な動画、静止画、音声フォーマットの推奨仕様について説明します。

動画

コンテナ/コーデック	拡張子	アスペクト比	解像度 (最大)	ビットレート (最大)	フレームレート	再生時間 (最大)
MP4 AVC	.mp4	16:9	3840x2160	30 Mbps	60 fps	10 分/ファイル
MP4 HEVC	.mp4	16:9	3840x2160	30 Mbps	60 fps	10 分/ファイル
MPEG TS AVC/MPEG2	.m2ts	16:9	3840x2160	30 Mbps	60 fps	10 分/ファイル

静止画

コンテナ/コーデック	拡張子	アスペクト比	解像度 (最大)	ビット深度情報
JPEG	.jpg, .jpeg	16:9	3840x2160	JPEG 仕様に基づ
BMP	.bmp	16:9	1920x1080	8 ビット (256 色) ビットマップ
PNG	.png	16:9	1920x1080	24 ビット RGB、32 ビット RGBA フォーマット
GIF	.gif	16:9	1920x1080	8 ビット (256 色) ビットマップ

音声

コンテナ/コーデック	拡張子	ビットレート (最大)	サンプリングレ	チャンネル (最大)	再生時間 (最大)
MP3	.mp3	kbps	44.1 kHz, 48 kHz	2 チャンネル	10 分/ファイル
AAC	.m4a	kbps	44.1 kHz, 48 kHz	2 チャンネル	10 分/ファイル

付録 II. シームレス再生仕様

ここでは、BSF が対応しているシームレス再生の仕様について記載しています。

シームレスに再現可能なコンテンツの組み合わせ

シームレス再生可能なコンテンツの組み合わせは下表の通りです。

また、使用するコンテンツは、[付録 I. 推奨メディアフォーマット](#)に記載されている推奨仕様を満たす必要があります。

行：再生中のコンテンツ

列：次に再生するコンテンツ

コンテナ/コーデック	MP4 AVC	MP4 HEVC	MPEG TS AVC /MPG2	静止画(4K) (*1)	PEG	BMP	PNG	GIF	HTML
MP4 AVC	v				v	v	v	v	v
MP4 HEVC					v	v	v	v	v
MPEG TS AVC/MPG2			v		v	v	v	v	v
静止画(4K) (*1)				v	v	v	v	v	v
JPEG	v	v	v	v	v	v	v	v	v
BMP	v	v	v	v	v	v	v	v	v
PNG	v	v	v	v	v	v	v	v	v
GIF	v	v	v	v	v	v	v	v	v
HTML (*2)	v	v	v	v	v	v	v	v	v

初回の再生のみシームレスに再生されません。

シームレス再生は、プレイリスト設定で画像タイプを「静止画」に設定した場合に対応します。ただし、画像の種類を

「静止画(4K)」から「静止画」に変更すると画質に差が出ます。詳細は表 1 をご参照ください。

(*1) プレイリスト設定で「種類」が「静止画(4K)」に設定されている画像。選択した種類が静止画(4K)であっても、画像は元の解像度に従って表示されます。詳細は表 1 をご参照ください。

(*2) シームレスは HTML コンテンツに依存するものではありません。

表 1：様々な再生モードと画像タイプ選択におけるシームレスな仕様

プレイモード	コンテンツ	タイプ選択	結果	備考
スライドショー	動画<>静止画	該当なし	静止画は常に 2K で出力されます	画質向上機能に対応していません
	静止画<>静止画	該当なし	静止画はオリジナルとして表示されます 2K->2K 4K->4K	画質向上機能に対応しています
プレイリスト	動画<>静止画(4K)	静止画(4K)	静止画はオリジナルとして表示されます 2K->2K 4K->4K	シームレス再生には対応していませんが、画質向上機能には対応しています
	動画<>静止画(2K)	静止画(4K)	静止画はオリジナルとして表示されます 2K->2K	シームレス再生には対応していませんが、画質向上機能には対応しています
	静止画(2K)<>静止画(4K)	静止画(4K)	静止画はオリジナルとして表示されます 2K->2K 4K->4K	シームレス再生、画質向上機能に対応しています
	動画<>静止画(4K)	静止画	写真は常に 2K で出力されます	シームレス再生には対応していますが、画質向上機能には対応していません
	動画<>静止画(2K)	静止画		
	静止画(2K)<>静止画(4K)	静止画		

更新履歴

BRAVIA Signage Free 2.1.0

- UI の更新
- USB チェックロックに関する情報の追加
- 自動的に再生を開始についての情報の更新
- USB フォルダのカスタマイズ情報の追加

商標

BRAVIAはソニーグループ株式会社またはその会社の登録商標または商標です。